



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL https://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 <アナリスト・機関投資家向け>

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	1,759	9.2	134	74.6	154	60.3	107	286.1
2019年5月期第2四半期	1,611	△20.3	77	△8.3	96	△13.3	27	△39.1

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 124百万円 (329.9%) 2019年5月期第2四半期 29百万円 (△61.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	2.69	-
2019年5月期第2四半期	0.70	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	6,133	5,242	80.6	123.18
2019年5月期	6,035	5,213	81.4	122.48

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 4,943百万円 2019年5月期 4,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2020年5月期	-	0.00	-	-	-
2020年5月期 (予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	12.8	275	13.5	300	2.5	160	63.6	3.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	40,133,000株	2019年5月期	40,613,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	－株	2019年5月期	480,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	40,133,000株	2019年5月期2Q	40,132,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

2. 決算説明会について

当社は、2020年1月15日（水）に決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料は、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット等によるクラウドサービスの更なる浸透とともに、IoT(注1)やAI(注2)等のビジネスへの活用拡大や、企業の業務効率化に向けたRPA(注3)の普及等、今後も好調に推移していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、クラウド、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引(eコマース)などのサービスを推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17億59百万円(前年同四半期比9.2%増)、営業利益は1億34百万円(同74.6%増)、経常利益は1億54百万円(同60.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7百万円(同286.1%増)となりました。

(注1)「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組みを意味する。

(注2)「Artificial Intelligence」の略

人間の知的営みをコンピューターに行わせるための技術(いわゆる「人工知能」)を意味する。

(注3)「Robotic Process Automation」の略

認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取組みを意味する。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアが運営するプラットフォーム市場が縮小する中、定額制コンテンツでの効率的な運用で収益確保を図るとともに、App StoreやGoogle Playなどの通信キャリア以外が運営するプラットフォームでのコンテンツの利用を促進させた結果、交通情報コンテンツが減少する一方、ゲームを中心とするエンターテインメントコンテンツが増進いたしました。その他、いなせり株式会社では、一般消費者向け鮮魚eコマース『いなせり市場』において、2019年11月よりサブスクリプション型の『豊洲仲卸厳選・お楽しみ月額パック』の提供を開始し、拡販に努めてまいりました。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、業務用スマートフォンアプリ、交通情報・教育・観光・調達・音声などの各種サービスの他、自社開発のサービスを活用した受託開発が堅調に推移いたしました。特に、キッティング支援においては、企業におけるスマートフォンをはじめとした端末の買い替え需要に伴い同マーケットが拡大する中、キッティングRPAツール『Kitting-One』等の支援ツールの導入を大手企業中心に促進させた結果、大きく伸長し、2018年5月期のセグメント変更以降、第2四半期累計期間において最高の売上高を更新いたしました。また、飲食事業者向け鮮魚eコマース『いなせり』においては、東京魚市場卸協同組合と連携し、出品数の増大、飲食事業者開拓に取り組んでまいりました。その他、引き続き、ブロックチェーン(注4)を活用した電力取引等、実証事業を継続して取り組んでまいりました。

以上の主な取り組みの結果、クリエイション事業の売上高は10億40百万円、セグメント利益は3億36百万円となりました。

(注4)データを「ブロック」に格納し、鎖(チェーン)のように連結して保管する、改ざんが極めて困難なデータベースを意味する。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発・運用サービス」においては、企業による活発なIT投資による市場拡大の状況下、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発(注5)を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発が引き続き増勢に推移した結果、2018年5月期のセグメント変更以降、第2四半期累計期間において最高の売上高を更新いたしました。

また、電気通信事業法の一部改正により2019年10月から携帯端末と通信料金の完全分離が実施されたことを受け、今後拡大が見込まれる端末周辺事業の創出に努め、クリエイション事業で注力しているキッティング支援を核に、中古端末(スマートフォン等)買取販売の拡大とともに更なるビジネスモデルの構築に努めてまいりました。

以上の主な取り組みの結果、ソリューション事業の売上高は7億19百万円、セグメント利益は94百万円となりました。

(注5) システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発することを意味する。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して97百万円増加し、61億33百万円となりました。流動資産は、主に売掛金の減少、貸倒引当金の減少、未収入金の減少及び現金及び預金の増加により前連結会計年度末と比較して1億27百万円増加し、52億81百万円となりました。固定資産においては、主にソフトウェアの減少により前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、8億51百万円となりました。

負債につきましては、主に短期借入金の増加及び未払消費税等の増加により前連結会計年度末と比較して68百万円増加し、8億90百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び非支配株主持分の増加により前連結会計年度末と比較して29百万円増加し、52億42百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益1億61百万円(前年同四半期比68.3%増)、減価償却費88百万円(同8.3%減)、売上債権の減少額80百万円(前年同四半期は売上債権の増加額9百万円)及び和解金の受取額64百万円等による資金の増加が、貸倒引当金の減少額32百万円(同2,984.4%増)及び法人税等の支払額38百万円(同32.2%減)等の資金の減少を上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは3億31百万円(同198.0%増)の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入9百万円(同327.2%増)及び無形固定資産の売却による収入4百万円がありましたが、クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得による支出52百万円(同31.6%減)等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは39百万円(同35.5%減)の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

株主の皆様への利益還元といたしまして配当に79百万円(同0.1%減)を支出したことに加え、長期借入金の返済による支出9百万円(同16.7%減)、短期借入金の返済による支出1億円及び短期借入れによる収入1億50百万円(同50.0%増)等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは55百万円(同47.4%減)の資金の減少となりました。

上記のとおり、当第2四半期連結累計期間は営業活動で増加した資金を効果的な設備投資及び株主の皆様への利益還元として配当に充当した結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比2億36百万円増加し、44億92百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月11日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,345,449	4,571,960
受取手形及び売掛金	567,088	486,320
商品	4,679	4,268
仕掛品	69,515	77,496
貯蔵品	241	348
未収入金	67,827	11,474
その他	133,421	131,599
貸倒引当金	△33,696	△1,696
流動資産合計	5,154,527	5,281,771
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	20,025	21,375
機械及び装置(純額)	320,736	309,242
土地	12,400	12,400
その他(純額)	19,035	20,585
有形固定資産合計	372,197	363,603
無形固定資産		
のれん	41	—
ソフトウェア	325,829	288,852
その他	8,826	24,026
無形固定資産合計	334,697	312,879
投資その他の資産		
投資有価証券	58,340	55,328
差入保証金	72,842	75,614
繰延税金資産	39,248	40,598
その他	3,682	3,657
投資その他の資産合計	174,114	175,198
固定資産合計	881,008	851,681
資産合計	6,035,536	6,133,453

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,849	116,748
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	52,628	49,792
未払消費税等	26,983	48,079
役員賞与引当金	—	831
その他	258,976	280,786
流動負債合計	492,933	569,734
固定負債		
長期借入金	253,891	244,101
退職給付に係る負債	55,284	59,393
その他	20,035	17,756
固定負債合計	329,210	321,250
負債合計	822,144	890,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,017	1,108,017
資本剰余金	984,701	984,701
利益剰余金	2,938,832	2,849,443
自己株式	△117,120	—
株主資本合計	4,914,430	4,942,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,199	1,407
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,407
新株予約権	4,378	4,003
非支配株主持分	293,383	294,895
純資産合計	5,213,391	5,242,467
負債純資産合計	6,035,536	6,133,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	1,611,499	1,759,778
売上原価	863,972	987,401
売上総利益	747,526	772,376
販売費及び一般管理費	670,490	637,861
営業利益	77,036	134,514
営業外収益		
受取利息	81	88
受取配当金	690	32
補助金収入	13,055	12,814
受取賃貸料	666	666
業務受託手数料	300	300
為替差益	24	—
保険解約返戻金	4,975	—
受取和解金	—	4,704
その他	1,691	3,528
営業外収益合計	21,485	22,132
営業外費用		
支払利息	1,660	1,590
支払手数料	176	183
為替差損	—	3
その他	133	133
営業外費用合計	1,970	1,910
経常利益	96,550	154,737
特別利益		
固定資産売却益	31	453
投資有価証券売却益	390	6,606
特別利益合計	422	7,060
特別損失		
固定資産除却損	855	—
特別損失合計	855	—
税金等調整前四半期純利益	96,117	161,797
法人税、住民税及び事業税	42,527	38,462
法人税等調整額	7,714	△1,442
法人税等合計	50,242	37,020
四半期純利益	45,875	124,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,904	16,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,970	107,996

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	45,875	124,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,800	208
その他の包括利益合計	△16,800	208
四半期包括利益	29,075	124,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,170	108,204
非支配株主に係る四半期包括利益	17,904	16,779

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,117	161,797
減価償却費	96,298	88,302
固定資産売却損益(△は益)	△31	△453
投資有価証券売却損益(△は益)	△390	△6,606
固定資産除却損	855	—
のれん償却額	125	41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,037	△32,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,213	831
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,558	4,108
受取利息及び受取配当金	△772	△120
支払利息	1,660	1,590
為替差損益(△は益)	△24	3
保険解約返戻金	△4,975	—
受取和解金	—	△4,704
売上債権の増減額(△は増加)	△9,931	80,768
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,364	△7,677
仕入債務の増減額(△は減少)	5,715	△7,189
未払又は未収消費税等の増減額	△7,775	22,187
その他	11,207	5,612
小計	169,020	306,493
利息及び配当金の受取額	765	112
利息の支払額	△1,660	△1,308
和解金の受取額	—	64,814
法人税等の支払額	△56,884	△38,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,240	331,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△29,690	△19,790
定期預金の払戻による収入	29,590	29,690
有形固定資産の取得による支出	△1,977	△6,828
有形固定資産の売却による収入	34	—
無形固定資産の取得による支出	△76,924	△52,651
無形固定資産の売却による収入	—	4,000
投資有価証券の売却による収入	2,321	9,918
会員権の売却による収入	5,700	—
貸付金の回収による収入	76	425
差入保証金の差入による支出	△387	△5,366
差入保証金の回収による収入	956	890
保険積立金の解約による収入	8,683	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,616	△39,712

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△11,748	△9,790
リース債務の返済による支出	△520	△624
株式の発行による収入	136	—
非支配株主からの払込みによる収入	3,400	—
配当金の支払額	△79,865	△79,768
非支配株主への配当金の支払額	△16,705	△15,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,302	△55,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,653	236,410
現金及び現金同等物の期首残高	4,115,410	4,255,759
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	17,536	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,077,293	4,492,170

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月23日開催の取締役会に基づき、2019年7月31日付で、自己株式480,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ117,120千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,849,443千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	917,002	694,496	1,611,499	—	1,611,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,906	40,486	59,392	△59,392	—
計	935,909	734,982	1,670,891	△59,392	1,611,499
セグメント利益	271,141	75,256	346,397	△269,361	77,036

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△269,361千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,040,122	719,656	1,759,778	—	1,759,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	21,842	21,887	△21,887	—
計	1,040,166	741,499	1,781,665	△21,887	1,759,778
セグメント利益	336,714	94,463	431,177	△296,662	134,514

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△296,662千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。